

2024

同友しずおか10



VOL.551

「入ってよかった」「続けてよかった」「誘ってよかった」「企業も地域もよくなった!」



私の逸品

グリーンシステム(株)

独自の「温室自動制御装置」
で農業の持続的成長を
支える

～互いに支えあい、励ましあい、援けあう～

私たちは地域にあってよかったと言われる同友会であり続けます



静岡県中小企業家同友会

同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の成功体験しか聞けない
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 指示待ち社員ばかり
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 将来の会社のビジョンができた
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きやうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1093名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
やま だ けん すけ 山田 研介	(株)碧の空コンサルティング 保険の販売、伴走支援型コンサルティング	静岡	中村佐和子
さ さ き しゅう こう 佐々木 修宏	佐々木工業 外構工事、造園工事、エクステリア工事、土木工事	榛南	池田 順一 河村 充
か どう な み 加藤 奈美	NAKAGAWA (株) クレーンリース	浜松	山崎かおり

名義変更による新名義人 (敬称略)

氏名	社名・事業	所属支部	旧名義人
まつ もと たつ ゆき 松本 竜幸	桐林秀行税理士事務所 税理士業	静岡	桐林 秀行
くれ ばやし ゆう た 樽林 祐太	樽林建設(株) 新築・建替え・リフォーム・不動産	榛南	樽林 英生

※新会員の写真は e.doyu 「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyu からのご確認をお願い致します。

独自の「温室自動制御装置」 で農業の持続的成長を 支える

グリーンシステム(株) (中遠支部)

宮口 貴信氏



宮口貴信氏 (左) とお父様で代表取締役の博明氏 (右)

農作物の栽培にガラス・ビニール製の温室は欠かせない建物となっていますが、一定の温度を維持する為には、変温(ボイラー・クーラー)管理や天候による天窓の開閉など多くの手間が必要となり、自動化・省力化システムを導入される農家の方も多くいらっしゃいます。今回の私の逸品では、温室の自動制御を支える装置のシステム開発・製作を手掛け、掛川市に営業拠点(本社は岐阜県岐阜市にて登記)を置くグリーンシステム(株)を訪問しました。お話を伺ったのは、中遠支部会員の宮口貴信氏とお父様で代表取締役の宮口博明氏です。

農業を支える独自のシステムを開発

代表の博明氏は大変ユニークな経歴を持っており、学習教材

販売をしていたアルバイト時代の縁から大学在籍中の20歳で、1976年にグリーンシステム(株)の前身となるセミナースクール(株)を進学先の岐阜市で設立、学習塾等の経営にも10年ほど携わります。

その頃から大手企業が手掛ける温室の自動制御装置は存在していましたが、非常に高価であり、温室でのメロン栽培で農業を営む実家でも導入に踏み切れずにいたことから、博明氏は自社事業として温室自動制御のシステム開発に着手することを決意します。1986年に社名をグリーンシステム(株)に変更し、博明氏自身も実家のある掛川市に帰郷するとともに、同社の静岡営業所を開設しました。



温室で使用するクーラー用ラジエーターを整備

ことから、まずは実家の温室メロン用として自動化システムを開発。実用的かつリーズナブルな費用感であったことから近隣農家の反響や受注もあり、自社事業が軌道に乗り始め、以降は太陽光発電システムの販売施工まで事業を拡大します。

経営者としての学びと交流を求めて同友会へ

実は博明氏も岐阜市時代の頃から現地で同友会に入会しており、帰郷後は静岡同友会に入会。その後は同友会と一度距離を置くこととなりましたが、2年前にご子息である貴信氏が県外の就職先から帰郷し、家業に入社したことで転機が訪れます。

博明氏の経験からも経営者同士での交流の場が必要と考え、ご子息の貴信氏に同友会への入会を助言した所、貴信氏自ら同友会事務局の門を叩き、2023年4月に入会することとなりました。

農家と自社の持続的成長をめざして

昨今はハウス栽培を営む農家が減少傾向にあるものの「自社のシステムを永年使用してくださっている農家の方々の為にもアフターフォローが大事」と貴信氏は語ります。その中でも、

Windowsパソコンが普及する以前に自動制御業界で一時代を築いたパソコン「PC-9800シリーズ」の維持に努める同社は、現在でも様々な方法でハードウェアを入手・修理し、既存顧客へのフォローを怠りません。

その一方で、Windowsパソコンへの移行、無線システムの開発による設置・配線工事の簡略化や、タブレット端末による遠隔操作のシステム化等、新しい技術の開発にも積極的に取り組んでおり、更には農業系大学との連携も視野に入れて貴信氏も日夜準備中とのこと。自社と農業界の課題解決へ尽力する同社に、今後ますます注目ください。

取材・原稿・兼古東志浩氏
(株)アイビス・中遠支部

グリーンシステム(株)

〒437-1406 掛川市川久保761-3

TEL: 0537-74-4328

URL: <https://green-s.net>

創業 1976年

社員数 8名

入会年月 2023年4月

事業内容 コンピュータ制御システムの開発、販売

会員訪問記

「コレが欲しい」「コレ直せる？」がほとんど叫ぶ工具屋さん
ササキ工具の30年の歩み

ササキ工具(株)

代表取締役 佐々木優氏 (静岡支部)



店内にて自慢の工具と佐々木氏

30年の歴史と再スタート

1990年代に創業した(株)モチケン商工を前身とするササキ工具(株)。30年の歴史を刻み、現在は2

代目となる佐々木優氏が代表取締役を務めます。同社は地域に根ざした土木工具専門店として、職人たちの「武器」となる高品質な商品を提供し続けています。

同友会との出会い、そして成長

佐々木氏は2016年の社名変更を機に同友会に入会。当初は積極的に活動していませんでしたが、ソフトボール大会やBBOイベントを通じて会員との交流が深まり、経営者としての心構えを養ったといえます。「同友会のネットワークや知識は、事業承継時にも大いに役立ち、現在の礎となっている」と話してくれました。

清水地域を中心に土木工具・資材を販売

清水地域を中心に土木工具・資材の販売を営む同社。大工や内装業者向けの店舗が多い中、土木専門の工具に特化することで、職人たちのニーズに添えています。特に、自然災害時の補修工事など、急な対応が必要な場面において、ササキ工具の存在は不可欠です。また、「お客様を第一に考え、



店内にはところ狭しと専門の工具が並ぶ

全ての来店客に満足していただくこと」という経営理念のもと、ワイヤー関連商品のオーダーメイドサービスなど、顧客の要望に特化したサービスを提供しています。希望に沿ったカスタマイズを通じて、職人たちの信頼を獲得しています。

他社との差別化と共存戦略

競合他社が台頭する中、同社は専門知識を持ったスタッフによる的確なアドバイス、市内無料配達急ぎの注文にも迅速に対応、高品質な商品の提供と柔軟な修理対応 ネットショップとの共存、といった強みを活かして顧客との信頼関係を築いています。

また、売上変動や土木業界の後継者不足といった課題を抱えながらも、地域に根ざしたサービスを提供し続けることで取引先の増加を目指していると佐々木氏は話します。顧客の紹介を通じて新たな



事務所にて取材風景

ササキ工具(株)

〒424-0807 静岡市清水区宮代町10-23

TEL : 054-367-5100

URL : <https://sasaki-kougu.com>

設立 2012年

社員数 5名

入会年月 2015年12月

事業内容 電動工具、エア工具、ワイヤー、スコップ、釘など現場用品全般の販売

取材・記事：杉本由美氏

(株)アンドパソン・静岡支部

取材：藤本浩氏

(株)プリントバリュー(株)・静岡支部

取材：望月康仁氏

(株)エムテック・静岡支部

取材：鈴木竜一氏

(有)ススキ工房・静岡支部

取材：久保田紘二郎氏

(会計事務所)・静岡支部



事務所前にて、石川氏

会員訪問記

働きやすい・住みやすい街を目指して

社会保険労務士・行政書士 石川事務所
代表 石川 貴広氏（榛南支部）

8月に新事務所に移転した御前崎市の社会保険労務士・行政書士石川事務所の石川貴広氏を訪問しました。

「人の役に立ちたい」と新たなチャレンジ

元々社会保険労務士とは全く関係の無い仕事をしてきた石川氏は、あることをきっかけに社会保険労務士という職業を知りその分野で人の役に立ちたいと思いはじめ、新たなチャレンジを決意。社会保険労務士と行政書士の資格を取得し2016年に事務所を開業しました。また、多様性の社会において働き方も人それぞれに合った形でできるよつという思いで就労支援事業（一般社団法人マール総合事務所）も行い、「紹介予定派遣」（最長6ヶ月の派遣期間終了後、本人と派遣先企業双方合意のもとに社員となる働き方）で、働きたいけれど様々な事情で働けていない



社員と石川氏

い方の就労を支援しています。一度派遣期間を設けることで企業と働く人がお互いの特徴や雰囲気を理解することが出来るため、安定した雇用につながりやすいと石川氏は話します。

同友会で経営指針を創る会に参加

同友会への入会は2018年。広く見識を持ちたいと思いオプザーバーとして参加した支部例会にて、年の近い同友会メンバーの経営に対する熱意に圧倒され入会を決意したそうです。翌年の2019年には「経営指針を創る会」に支部の仲間誘われ参加。自社の理念が成文化され明確になったことで「自分が出来る地域貢献が何か」はつきりしたと石川氏。自社事業の定義を「企業と町の皆さんの法律的な安心を支える身近な相談者」と定めました。少子高齢化が進み労働力人口の減少が問題とされる中、経営者と労働者の双方の考えを理解し、一体となって職場の労働環境を整備することで「働きやすい職場の多い街」ひいては、「住みやすい街・御前崎市」の発展に努めていると言います。

仕事の枠を超えた地域への思い

元々、地域への思いが強く海に関するボランティアなどに積極的



経営理念を掲げる石川氏

に参加している石川氏は、御前崎市をより良い街にしたい思いで一発発起し、2024年御前崎市議会議員選挙に立候補。同氏の街の未来への思いが市民に伝わり、見事初当選を果たしました。「自分の生まれ故郷を次世代につなげるために、仕事の枠を超えて活動していきたい」と笑顔で意気込みを語る石川氏でした。

取材・記事：中村 秀和氏
(中村醤油(株)・榛南支部)

社会保険労務士・行政書士 石川事務所

〒437-1612 御前崎市池新田3258-6

TEL：0537-86-8141

URL：https://sites.google.com/view/ishikawa-sr-omaezaki/

設立 2016年

社員数 2名

入会年月 2018年7月

事業内容 社会保険労務士

第52回青年経営者全国交流会in宮崎 集え！変革者〜日本のひなたから照らす未来〜

9/19(木)〜9/20(金)に第52回青年経営者全国交流会in宮崎(以下、青全交)が1,971名の参加登録のもと開催されました。1日目は「青年部活動と企業経営は不離一体」「経営者の自己変革」「社員の自主性の発揮」などをテーマに17の分科会に分かれ学びを深めました。

2日目の記念講演では宮崎同友会会員の米津健一氏(日本情報クリエイト株)が「勝てる事業づくりで地方から全国へ!」をテーマに講演しました。米津氏は、1994年



米津健一氏(日本情報クリエイト株)による記念講演

31歳の時に、人口14万人の都城市に社員と二人で日本情報クリエイト株を立ち上げました。「地方にあつて全国をマーケットにする企業」にするという志を社名に込め、今年で創業30年、社員は310名以上、全国に30拠点を展開し、不動産管理ソフト・システム業界では導入企業実績約7000社と、トップシェアの企業へと発展してきました。2020年7月には「グロース」上場、業績はコロナ禍を経ても堅実に右肩上がりが続いています。米津氏が大切にしているのは「勝てる場所と戦う」こと。そして「労使見解や経営指針といった同友会の学びを徹底的に実践する」ことだと語ります。ソフトウェアメーカーとしてゼロからの商品開発、徹底的に市場分析を行い収益性の高い不動産業界に目を付けます。賃貸管理のソフトをリリースし実績を積んだところで東京に進出したものの失敗を経験し、信用のない場所で戦ってもダメだと学びます。その後同友会に入会、人材育成とマネジメントに課題を感じていた米津氏は「経営理念作成セミナー」に参加し労使見解と出会います。学びを実践する中で大切にしたのは経営理念で社員と「ベクトルを合わせる」こと、経営指針書で社員の「主体性を高める」ことの2点。「指針書で方向を具体的に示し、結果もしっかり共有す

ることで社員が自発的に動いてくれるようになった」と話しました。同友会で経営者としての覚悟を学び、経営指針を実践し続け、社員をパートナーとして関係構築してきたからこそ、社員とたてたビジョンに向かって進むことができ株式上場を実現できたと米津氏。最後に「地域企業として、地域に働ける場所があり、チャレンジできる環境がある。そんな会社になりたい」と地域への想いを語りました。

全体会の最後は次回開催地の香川にバトンをつなぎ、中山幹事長によるまとめで学びと熱気溢れる2日間が幕を閉じました。

〈静岡同友会からの参加者より感想をいただきましたので紹介します!〉

青全交では第6分科会に参加し、企業変革の取り組みをされている野々村将任氏(日本いぶし瓦株・岐阜同友会)の報告を聞いてきました。

私と野々村氏は第2回東海合同例会実行委員で同じ分科会を共に創り上げました。野々村氏の印象はとにかく前向きで、なによりめちゃくちゃポジティブで、どうしてもこんなにもポジティブなのか、当時は腑に落ちていませんでした。今回、野々村氏の報告を受け、青全交のテーマにもなっている「変革者」として企業変革に真剣に取り

組み、企業文化を野々村氏自身が常に体現されていたのだと全て腹落ちしました。分科会を通して、企業変革とは向き合うことであると学びました。向き合うといっても様々なステージ(自身、家族、会社、事業、社員、理念:etc)があり、人によって違います。ただ、企業変革のはじめの一步目として必要なことは自己変革であり、自分自身とことん向き合うことであるということです。自分が変われば会社が変わる、会社が変われば地域が変わります。最後に、報告の中で「同友会では『理念なき利益は犯罪、利益なき理念は寝言』と言われる」という話がありました。この寝言を現実にしていくのが経営者の仕事です。実現していきましょう!

小野寺敦嗣氏(富士設計株・富士宮支部)



第6分科会報告者・参加者と小野寺氏(右)

第21期経営指針を創る会 経営理念発表会

自身と、自社と向き合いつくりあげた「経営理念」を発表

9月7日(土)・8日(日) プラサヴェルデ(沼津市) 参加者・36名

6月よりスタートした第21期経営指針を創る会。13名の受講生が約4ヶ月に亘り自社の存在意義、経営者としての思い、社員への思い、自社が置かれる経営環境を学び、意見交換を行い、成文化した経営理念を発表しました。発表後は2グループに分かれて受講生・修了生が経営理念への意見を交わしました。2日目には、参加者それぞれから経営者としてこれまでより思いが強固になり、覚悟が固まったとの声がありました。

〈今期の受講生より経営理念発表会を経ての感想を頂きましたので紹介します！〉

経営に悩み同友会に誘って頂き、入会し半年、「経営指針を創る会」の開催を知り、良い会社になりたい、示せていなかった会社の進む方向を社員さんに伝えたい、又、頂いたチャンスを無駄にできないとの思いで受講を決意しました。

6月の第1講から各講の課題を進め自身や自社に向き合いましたが、何が本当なのか自信を無くし悩み迷いながらの3ヶ月間でした。そして迎えた第6講は、二日間の合宿形式で行われた「経営理念発表会」。各講での自身の課題発表後の討論で頂いたスタッフや受講生の皆さんからの意見や指

摘を受け止め、自分なりに見つけた(ハズだった...)経営理念を発表したものの、いつの間にか経営指針を「作る事」が目的となってしまうっていた事や「自身の甘さ」を思い知る結果に。

第10講の経営指針の発表に向け、今一度受講の目的を思い出し第1講から振り返り、何の為に誰の為に忘れずに、自身で納得のいく経営指針を創りたいと思います。
伊藤徹郎氏(有)伊藤金属総業・伊東支部



第21期創る会の受講生とスタッフ



静岡同友会設立50周年記念行事

NEXT50 フォーラム

～誰ひとり取り残さない～

2024
11/28
木

日時：2024年11月28日(木) 13:00～20:45(予定)
会場：ホテルグランヒルズ静岡 (JR静岡駅南口より徒歩1分)

記念講演：「日本の伝統産業を世界へ！」

(株)能作 代表取締役会長 能作 克治氏 (富山同友会)

内容：同友会マルシェ、全体会・記念式典、記念講演、大討論会、懇親会

★見どころ紹介★

同友会マルシェ 「静岡まるごと出会おう！」をテーマに県内会員の自慢の逸品が並びます

記念式典 静岡同友会のこれまでの50年の歩みを感じられる功労者表彰など

記念講演 積極果敢なチャレンジで伝統産業に新たな軸を描き、社長就任時と比較して社員15倍、工場見学者300倍、売上10倍、8年連続10%成長を達成した能作氏の経営実践は必聴

大討論会 「付加価値」「事業承継」「地域貢献」3つのテーマに分かれ、一つの会場で熱気あふれるバズセッションを行います

懇親会 「我が支部自慢PRタイム」など支部間の交流を深め、参加者全員が楽しめる企画も用意！



★特設ページ★

10月・11月

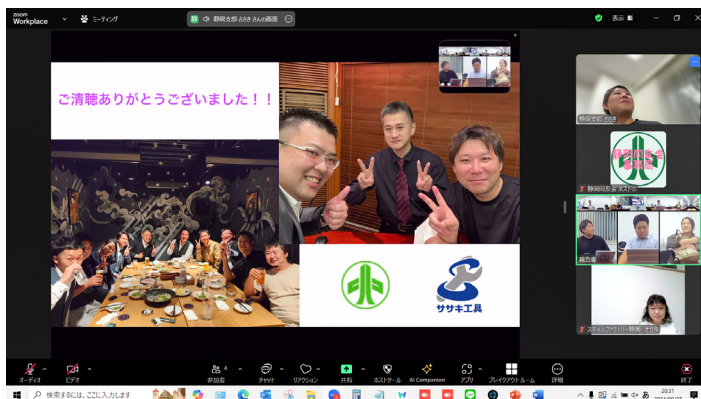
DOYU CALENDAR

10月16日(水)~11月15日(金)

10月 16日(水)	志太例会 (18:30 静岡産業大学 藤枝キャンパス)	31日(木)	県青年部10月ハロウィン例会 (19:00 パルシェ貸会議室)
17日(木)	静岡県経済産業部との意見交換会 (15:00 同友会事務局) 富士例会 (19:00 ロゼシアター)	11月 1日(金)	スコップとビールの会 (中部) (18:00 調整中)
18日(金)	県共育委員会主催 若手社員フォローアップ研修 (9:50 レイアップ御幸町ビル) 東部4支部合同会議 (17:00 伊東市観光会館)	5日(火)	NEXT50フォーラム幹事会 (16:00 調整中) 県広報情報化委員会 (19:00 ZOOM) 県青年部連絡会 (19:00 同友会事務局&ZOOM)
22日(火)	県組織増強委員会 (18:00 同友会事務局&ZOOM) 県例会企画委員会 (18:30 ZOOM)	7日(木)	正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
23日(水)	榛南研修旅行 (7:00 (株)宮崎本店 ほか)	8日(金)	スコップとビールの会 (西部) (18:00 プラザきくる)
24日(木)	県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)	11日(月)	NEXT50フォーラム実行委員会 (16:00 調整中) 第21期経営指針を創る会 第9講 (19:00 調整中) 静岡県日中友好協会 意見交換会 (13:30 同友会事務局)
25日(金)	総務財務委員会 (16:00 同友会事務局) 第21期経営指針を創る会 第8講 (19:00 レイアップ御幸町ビル) イントロセミナー (19:00 同友会事務局&ZOOM)	13日(水)	県広報情報化委員会オープン勉強会 (19:10 同友会事務局&ZOOM)
28日(月)	女性部幹事会 (20:00 ZOOM)	14日(木)	浜松例会 (19:00 調整中)
29日(火)	県障がい者問題委員会主催 西部関係機関との 意見交換会・中遠例会 (19:00 アクトシティ浜松 研修交流センター)	14日(木) ~15日(金)	第8回人を生かす経営全国交流会 in長崎 (13:00 ホテルニュー長崎)
30日(水)	県政策委員会 (18:00 同友会事務局&ZOOM)		



《 あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください 》



同友会が日々の活力になると話す佐々木氏

次回は10月25日(金) 19時より、米森良偉氏(株)Regalonic・静岡支部)が報告します。「同友会ってどんなところ?」が体験できるイントロセミナーとなっています!ぜひオプザーバーを連れてご参加ください! ZOOM参加も大歓迎です!

報告後、「自社の固有の役割」をテーマにグループ討論を実施。互いに自社の強みや特徴を出しあい「現在強みだと思っているものは、企業の成長とともに弱みにもなる」「普段の仕事の中では当たり前になっていることが社会において重要な役割を担っている」など参加者同士で深めあう時間となりました。

は会員訪問記をご覧ください! ※詳しくは会員訪問記をご覧ください!

オプザーバーや新会員にむけて同友会を知って頂く機会として、また仲間との交流の場として毎月開催しているイントロセミナー。9月イントロセミナーには18名参加、静岡支部青年部会長を務める佐々木優氏(ササキ工具(株)・代表取締役/静岡支部)が報告しました。

9月イントロセミナー

毎月原則第4金に実施中!

ぜひオプザーバーと一緒にご参加ください!

9月27日(金) 同友会事務局会議室&ZOOM